

OCHADAI GAZETTE

お茶の水女子大学学报 第260号 2019年4月4日

OCHADAI GAZETTE April, 2019



より良き未来を生きるために

CONTENTS

TOPICS

- | | |
|--|------------------------------------|
| 学長からのメッセージ 1-2 | キャンパス点描 8 |
| ● より良き未来を生きるために | ● 平成29年度桜蔭会研究奨励賞受賞者による研究発表会を開催しました |
| 特色ある取り組み 3-4 | ● 平成30年度お茶の水女子大学賞授与式を開催しました |
| 附属学校園からのお知らせ 5-6 | メディア報道記録 9-10 |
| キャンパス点描 7 | |
| ● ブリヂストンとお茶の水女子大学が次世代女性リーダー育成支援「未来起点プロジェクト」を発足しました | |

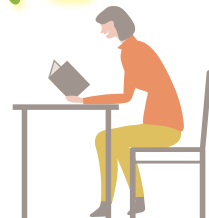


お茶の水女子大学
Ochanomizu University

学長からのメッセージ

より良き未来を
生きるために

～ 読書のすすめ ～



最近、日本経済新聞社から、「リーダーの本棚」欄への取材を受けました。私は、4年前の学長就任以来、本を読む時間もなく過ごして来てしまいましたので、その取材が自分自身の読書経験を思い出し、さらには好きだった本をまた手に取る機会となりました。

私の父は自分で詩を書くような元・文学青年でしたので、家には古今の様々な領域の本が溢れていて、私は幼い頃から、内容が分かるか分からないかにかかわらず、本棚にあるものを手当たり次第に読んでいました。また、父や母と本屋さんへ行って、美しい挿絵のある絵本を買って貰うのが楽しみでした。幼稚園児の頃に毎月届く「キンダーブック」や、世界名作全集や日本文学全集を何度も何度も読んだことや、それらの本が私の心にたくさんの夢を運んで来てくれたこと、そして、年齢を重ねるに従って異なるジャンルの本を読んで、多くのことを学んできたこと

に思いを馳せました。

振り返ってみますと、私はたくさんの本を読むことで、居ながらにして広い世界を知り、それらの本の作者や登場人物が生きてきた時間と体験を共有したつもりになって、気づかないうちに、多くの考え方や文化を吸収していたのだと思います。

母親になってからは、息子と一緒にたくさんの本を読みました。因みに、新聞紙上で紹介した私の愛読書のうち、『星の王子さま』、『銀河鉄道の夜』は、息子が小さな頃にも一緒に繰り返して読んだものです。その他、『チボー一家の人々』、『キュリー夫人伝』、『何でも見てやろう』、『死にゆく子どもを救え』などを紹介しましたが、様々な年齢で、また異なる社会環境下で、それらの本から多くのことを学びました。いつか、皆さんの愛読書について、お話を聞かせて頂きたいと思っています。



最近の若い人たちは、本を読まないということがよく言われています。実際に、たくさんの情報が溢れている環境で、ゆっくりと時間を使って読書することは効率が悪いと思う人たちも多いのかも知れません。でも、インターネットなどで簡単に手に入る情報ばかりに接しては、自分自身の価値判断に基づいて情報を評価し、取捨選択をすることや、じっくりと物事を考え、自分自身の中に確固たる「核」を作ることとは難しいのではないかと感じています。

お茶の水女子大学で、新たな学びの道を歩み始めた新入生の皆さんは、これからの大学生活において、今までとは異なるタイプの多様な領域の本を手にする機会が増えることでしょう。種々様々な本に出会うだけでなく、これまで考えたこともないような、多様な価値観に触れることにもなると思います。将来、多様な価値観と人々が交錯する社会で生きていく皆

さんにとって、多様性を包摂する本学のキャンパスで学ぶこと、そして、広い世界の様々な文化に触れることは、大きな力になることと信じています。

21世紀の輝かしい担い手である皆さんには、より良い未来を生きるために、人々が長い歴史の中で紡ぎ、蓄積してきた智慧の産物としての「本」を活用し、それらを基盤として創出されてきた文化を、大切にしていきたいと願っています。

2019年4月

お茶の水女子大学長 室伏 きみ子

特色ある取り組み 国際交流留学生プラザ

パブリックアート

1階 | ◆◆ 陶板 ◆◆ 「3つの色とわたしの夢」

現代美術家の日比野克彦氏(東京藝術大学教授)が本学附属小学校・中学校の児童・生徒980人と共にワークショップを行い制作した陶板が設置されました。

一人一人がプレートにテーマに沿って選んだそれぞれの3つの色と自分の夢を描きました。2940の色が互いに共鳴し合っ、みんなの色の中に包まれたみんなの980の夢を応援しています。



附属学校の生徒によるワークショップの様子

2階 | ◆◆ 陶板 ◆◆ 「レッツ3つの色」

現代美術家の日比野克彦氏(東京藝術大学教授)が企画制作した参加型のパブリックアートが設置されました。本学附属小・中学校の児童・生徒と行なったワークショップをあなたも体験することができます。言葉になる前のイメージの世界を色を頼りに辿ってみながら、自分の中にある夢のようなものを視覚化してみませんか…。そしてここはここに訪れた人たちの夢のようなものとも出会うことができる場所です。



日比野先生作品の制作の様子

3階 | ◆◆ 金属彫刻 ◆◆ 「シュプリンゲン <世界に向かって>」

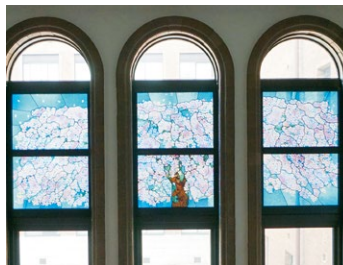
金工作家の宮田亮平氏(東京藝術大学名誉教授)による金属彫刻が、3階屋上庭園に設置され、館内からも館外からも鑑賞することができます。この学び舎から大きく羽ばたく若人達の姿を、宮田先生のモチーフであるイルカに託して、若人達が全世界に発進し新たな歴史を創ってくれることを祈念して制作されました。



制作工程の様子(宮田先生ご本人です)



「夜櫻」(大学本館内)



「枝垂れ山櫻」(大学本館内)

◆◆ ステンドグラス ◆◆ 「櫻花爛漫」

日本画家の中島千波氏(東京藝術大学名誉教授)の原画によるステンドグラスで、爛漫と咲く桜に虹が架かる情景は、大空の七色の虹の橋を世界の若人たちが渡り、「希望」と「平和」が未来永劫手を繋ぐ場所になる事を願った作品が commons 2 に設置されました。なお、大学本館内にも桜をモチーフにしたステンドグラス「枝垂れ山櫻」「夜櫻」が設置され、館内に優しい光を届けています。

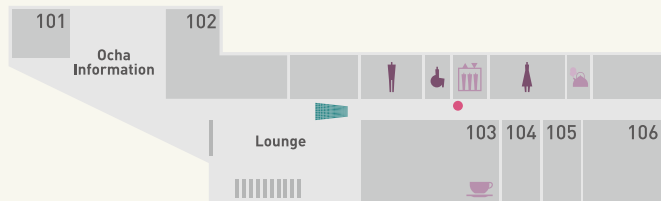


ステンドグラス「櫻花爛漫」制作の様子

floor guide

1階 ~知る・憩う~

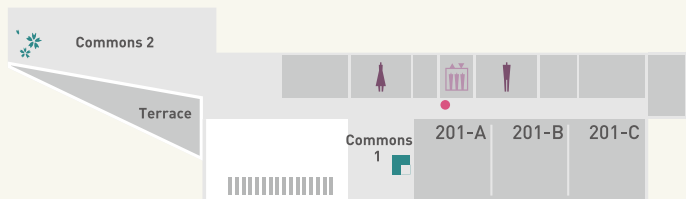
Ochaインフォメーションや歴史資料館に加えて、留学生の交流拠点となる国際教育センターやラウンジ、一般の方もご利用いただけるカフェ、また作楽会(附属高等学校の同窓会)事務局と会議室、3同窓会(鏡影会(附属中学校の同窓会)、茗鏡会(附属小学校の同窓会)、ちぐさ会(附属幼稚園の同窓会)共通の事務局)があり、様々な交流が生まれる空間です。



- 101 歴史資料館
- 102 国際教育センター
- 103 カフェ
- 104 3同窓会事務局
- 105 作楽会事務局
- 106 作楽会会議室

2階 ~集う~

最大で120人が収容できる多目的ホールや、交流会や発表会を行うことができる commons があり、学内外の行事やイベントで多くの人々が訪れる空間です。



- 201-A 多目的ホールA
- 201-B 多目的ホールB
- 201-C 多目的ホールC

国際交流留学生プラザ 建設について

【目的】3つの交流・集い:国際、地域、世代(学生・生徒・児童、卒業生) 【主な建設資金】未来開拓基金へのご寄附(滝久雄氏ご夫妻をはじめ、ザ / 英語名:Hisao & Hiroko TAKI PLAZA 【建物概要】建物用途:大学施設 / 建物構造:鉄骨造・地上4階建て / 延床面積:2335.04㎡ オープン 【施工会社】清水建設(株) 【工事監理】隈研吾建築都市設計事務所、お茶の水女子大学施設課 【パブリックアート】作家…ステーク彦氏(東京藝術大学教授)、企画…公益財団法人日本交通文化協会

(Hisao & Hiroko TAKI PLAZA)

完成



カフェ

SEATTLE ESPRESS CAFE
(シアトルエスプレスカフェ)がオープン

シアトルスタイルのカフェラテや、カプチーノをはじめ親しみやすいドリンクメニューが揃い、手づくりのピザやパニーニ、デザートなど、バリエーション豊かなアイテムがリーズナブルプライスで味わえます。解放的な空間で、学内外問わず気軽に過ごすことのできるカフェが新たに誕生しました。



コモンズ2

建設の
経緯・目的

国際交流留学生プラザ

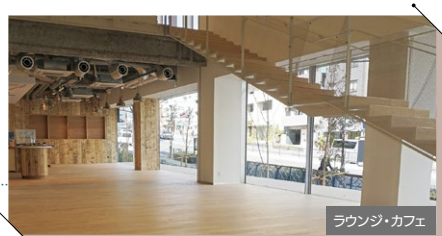


至大学正門

本プラザは、国際交流・地域貢献・世代間交流の3つの目的をもつ集いの場として建設されました。

建設にあたり、未来開拓基金への滝久雄(株式会社ぐるなび創業者、本学学長特別顧問)・裕子御夫妻や同窓生からのご寄附をはじめとして、教職員・在校生を含む多くの方々からのご支援を頂きました。設計は、隈研吾建築都市設計事務所により、自然豊かなキャンパスとの調和を図りながら進められました。各階にはパブリックアートが設置され、ここに集う皆様に快適に過ごしていただける空間となりました。

本施設には、同窓会コモンズ(大学および附属学校園の5同窓会の集いの場)も併設されており、お茶の水女子大学の新たなシンボルとして、多くの方々にご利用していただくことが期待されます。

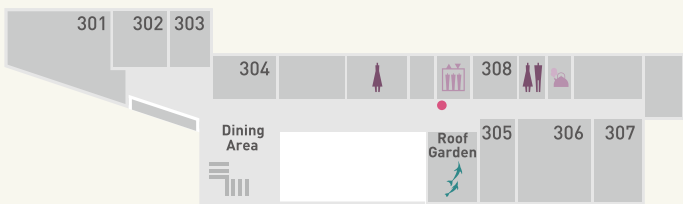


ラウンジ・カフェ



3階
~学ぶ~

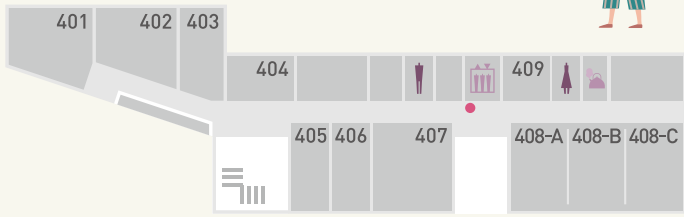
海外と時差を超えた学びの交流ができるよう最新のテレビ会議システムを備えたセミナー室や、日本文化教室などを開催できる和室の研修室のほか、キッチン・ダイニングエリアを配置しています。桜蔭会(大学の同窓会)の事務室などの施設もあり、多様な交流が促進される空間です。



- 301 セミナー室
- 302 研修室2
- 303 研修室1
- 304 キッチン
- 305 桜蔭会会議室A
- 306 桜蔭会会議室B,C
- 307 桜蔭会事務室1
- 308 桜蔭会事務室2

4階
~泊まる~

研究・社会連携のための施設、同窓会の共用室(会議室)のほか、国内外のゲスト等のためのキャンパスを眺められる宿泊室(シングル・ダブル)があり、多様な連携が推進される空間です。



- 401-404 宿泊室
- 407 学会事務室
- 408-A 同窓会共用室A
- 408-B 同窓会共用室B
- 408-C 同窓会共用室C
- 409 同窓会共用室D

特色ある取り組み

同窓生、在校生、教職員など 【設計者】隈研吾建築都市設計事務所 【建物名】日本語:国際交流留学生プラザ / 大学施設:1754.40㎡ / 同窓会施設(同窓会コモンズ):580.64㎡ / 2018年5月着工、2019年3月完成・ドグラス:中島千波氏(東京藝術大学名誉教授) 金属彫刻:宮田亮平氏(東京藝術大学名誉教授) 陶板:日比野

歴史をめぐる 学内外とのつながり

平成30年は明治150年にあたるといことで、
附属幼稚園の歴史に関わるお問い合わせや協力依頼がいくつかありました。
幼稚園の歴史をめぐる学内外との関わりについて報告します。

◆◆◆ 明治日本が見た世界 ◆◆◆

10月から11月、明治神宮外苑 聖徳記念絵画館の特別展で展示された松野クララのパネル作成に協力しました。松野クララは附属幼稚園開園当時、主席保母として保育を指導したドイツ人女性です。



撮影/川崎 仁

■ 松野クララ顕彰碑

平成23年11月には、青山霊園外人墓地の松野家敷地内に顕彰碑が建てられました。碑は、松野クララの日本の保育への多大な貢献を伝えています。お近くに行かれた際には是非、立ち寄ってみてください。

碑文
松野クララ (一八五二—一九三二)
ドイツ、ベルリンに生まれる、日本人男性とドイツ人女性の正式な国際結婚第一号。
明治九年、日本で最初の官立幼稚園 東京女子師範学校附属幼稚園の主任保母としてフレibelの幼児教育法を導入し、指導にあたる。また、ピアノ奏法の指導に先駆的役割を果たした。日本の近代化に尽くした功績を讃え、顕彰碑を建立し、ここに伝える。

◆◆◆ 附属幼稚園の歴史資料整理 ◆◆◆

旧職員、学内の専門家を中心とする“歴史資料研究チーム”が平成22年度から、附属幼稚園園長室に保存されている歴史資料を整理する作業を、ほぼ月1回のペースで行っています。継続した資料整理のお陰で、平成28年11月には『お茶の水女子大学附属幼稚園 創立140周年記念誌』を発行することができました。



国立大学法人
お茶の水女子大学附属幼稚園
創立140周年記念誌

また、前述の松野クララのパネル作成のような学外からの問い合わせに対しても、このチームの先

生方のお陰で、求めに応じた情報を提供することが可能になっています。

昨年8月には、茨城県立歴史館にて『アーカイブズ展「明治150年」記念展示』が行われ、幼児・女子教育の先覚者 豊田英雄についての史料紹介がされ、本園の歴史について学ぶ機会を得ました。日本人初の幼稚園保母である先覚者の足跡に触れることは、今現在子どもと向き合う仕事に携わる者にとって、大きなエネルギーをいただく思いでした。

◆◆◆ 子どものための建築と空間展 ◆◆◆

1月に入り、パナソニック汐留ミュージアムで開催された同展には、旧園舎の写真及び設計図、大学からはフレibelの恩物が貸し出されました。展示の企画担当者の方とのやり取り、さらには本学図書館のアカデミック・アシスタントの方との交流からも気付きや学びがありました。



現在も幼稚園で使っている園児用椅子も展示されたのですが、展示を見に行った保護者から「子どもが触ってしまって触らないでと声をかけられてしまいました」と報告を受けました。いつも使っている椅子が陳列されているのは不思議だったのでしょうか。私たちにとっても、こうした機会は、身近に使い続けている環境に改めて目を向け、感謝の思いを抱く機会になっています。

3学期、お山と呼ばれている場所を掘っては、いろいろな形の石や瓦礫を見つけて「恐竜の化石だ」と楽しむ遊びがブームになりました。発見した物を並べて「見せる」ことになり、子どもたちがしきりに「てんじ」という言葉を使っていたのも、面白いつながりでした。

附属学校園での出来事 (2019年1月～3月)

【いずみナーサリー】

1月

- 凧揚げ
- 避難訓練 (地震・屋内待機、主任不在想定)

2月

- 避難訓練 (抜き打ち、火事、屋外避難)
- 保護者会

【附属幼稚園】

1月

- 始業式
- クラス懇談会
- 誕生会
- 教育実習事前指導 (3年生)
- 5歳児 遠足 (上野動物園)
- 3歳児 親子で遊ぶ日
- 親子体操の会

2月

- 豆まき
- 公開保育研究会 (第2回)
- 誕生会

3月

- ひなまつりの集い
- 5歳児 お楽しみ会
- PTA総会・全体保護者会
- 卒業式

【附属小学校】

1月

- 始業式
- 成人のつどい
- 留学生との交流会 (5年)

2月

- 委員会 (4年生見学)
- 公開研究会

3月

- 授業参観・保護者会総会・かがみ会総会
- 茗鏡会スプリングコンサート
- ジャガイモ植え (5年)
- 雪の学校 (6年)
- 卒業おめでとうの会
- 保護者会 (各学年)
- 校外学習 (1年～4年)
- できたて給食を食べる会 (6年)

3月

- 個人面談
- 避難訓練 (抜き打ち、地震、室内待機または屋外避難)
- 親子であそぼう会

【附属中学校】

1月

- 授業開始
- 特別時間割週間 (1・2年)

2月

- 自主研究発表会 (2年)
- 期末テスト (全学年)
- 避難訓練 (1・2年)

3月

- 保護者会 (3年)
- 音楽行事・歓送会
- 卒業式
- 終業式・離任式
- 保護者会 (1・2年)

【附属高校】

1月

- 始業式
- 筑波大附属との合同キャリアカフェ
- 大学入試センター試験 (3年)
- 3年生2者面談
- 学力テスト (1・2年)
- 保護者会 (1・2年)

2月

- 入学検定・合格発表
- 筑波大附属との合同キャリアカフェ
- ストラスブル大学
プリングル先生 講演会 (1年)

3月

- 期末考査
- 新入生説明会
- 答案返却
- 特別講義「図書館を活用した探究の方法」(1年)
- SGH成果発表会 (兼公開教育研究会)
- 卒業式予行・歓送会
- 卒業式
- 終業式

❖・❖・❖・お山の大銀杏・❖・❖・❖

幼稚園の園庭、お山に1本の大銀杏があります。秋にはたくさんのギンナンをたわわに実らせ、11月には葉が鮮やかに黄色くなります。子どもたちはギンナンの匂いを感じ、一面に落ちた黄色を目にし、踏みしめる感触を体感していることでしょう。

本学名誉教授の津守真先生が昨年12月にご逝去されました。ある時、この銀杏の木を切るという話が持ち上がったそうです。津守先生はご自身の本学教授の職を賭して銀杏の木を守ってくださったと私たちは伝え聞いています。歴史に触れる中で、この大銀杏をはじめとして、たくさんの人、物、事に守られて幼稚園の生活があることを痛感します。

私たちも子どもたちの嬉しい生活を、バトンをつないで守っていられるよう、園での暮らしを大切に紡いでいきたいと思えます。



キャンパス点描

ブリヂストンとお茶の水女子大学が次世代女性リーダー育成支援「未来起点プロジェクト」を発足しました……………

国立大学法人お茶の水女子大学と株式会社ブリヂストンは、高校生・大学生・大学院生を対象として次世代の女性リーダーの育成を支援する「未来起点プロジェクト」を2019年4月に発足します。本プロジェクトは、2017年1月にお茶の水女子大学とブリヂストンとが締結した包括協定の内容を具体化するもので、次世代の女性リーダー育成のための産学連携プロジェクトになります。

本プロジェクトでは、お茶の水女子大学に社会連携講座「未来起点ゼミ」を開講します。学生はこの講座の中で、多様なステークホルダーとの対話を通じて未来の社会を予測し、企業や自治体、教育機関が果たすべき役割について提言します。未来起点で考え、行動する学生のリーダーシップを育てるとともに、次世代の女性リーダーとなる学生の視点から考えた未来予測を企業や大学の活動に取り入れてもらうことを目的としています。

「未来起点プロジェクト」は、お茶の水女子大学に開講する社会連携講座「未来起点ゼミ」を軸に推進します。お茶の水女子大学とブリヂストンが互いのリソースを活用し、意見を提示・交換して授業内容を検討する点に特徴があります。

「未来起点ゼミ」

■目的

- ①未来起点で自ら考え、実行する学生のリーダーシップを育成
- ②社会に対して、次世代の視点から考えた未来予測を共有

■開講期間

2019年4月～2020年3月(次年度以降も継続実施)

■受講対象

お茶の水女子大学の大学生、大学院生、及び

お茶の水女子大学附属高等学校の高校生

■定員:20名

■開催場所:お茶の水女子大学

お茶の水女子大学は、開学以来、社会をリードする女性人材を数多く輩出してきました。しかし、未だ日本における女性の活躍状況は世界的に見て発展途上の段階にあります。本プロジェクトを通して、「女性リーダー育成」の取り組みを更に広げ、企業との連携によってより実践的で多様な価値観を持つ女性リーダーを育成し、日本の女性活躍推進に貢献していきます。



ブリヂストン社員とお茶の水女子大学生対談の様子

全学「未来起点ゼミ」は、
2019年度新設科目として開講されます。
詳細はこちらをご覧ください。
受講をお待ちしています。▶▶▶▶▶▶



平成29年度桜蔭会研究奨励賞受賞者による 研究発表会を開催しました……………



学生による発表の様子

2019年2月13日、平成29年度桜蔭会研究奨励賞受賞者による研究発表会を開催しました。これは、桜蔭会研究奨励賞を受賞した学生が、博士前期課程修了時に自身の研究成果を発表するものです。今年は、各専攻長に選抜された代表5名が研究発表を行いました。

発表者は、桜蔭会会長の内田伸子様、副会長の遠藤由美子様、本学関係教員、他の受賞者の前で、レジュメやスライドを活用して2年間の研究成果と今後の抱負を披露しました。発表後は、指導教員からのコメントと質疑応答

平成30年度お茶の水女子大学賞授与式を 開催しました

2019年3月4日、お茶の水女子大学賞各賞（湯浅年子賞、黒田チ力賞、小泉郁子賞、保井コノ賞、辻村みちよ賞）の授与式を行いました。湯浅年子賞（以下湯浅賞）は、優れた原子核の実験的研究を行い国際的に活躍した女性自然科学者湯浅年子博士を称え、また黒田チ力賞（以下黒田賞）は天然色素の構造について長年にわたって優れた研究を行い女性化学者として活躍した黒田チ力博士を称えて自然科学関係の女性研究者に対する顕彰のために化学科の前田候子元教授からのご寄附を基に設立されたものです。第6回湯浅賞（銀賞）は洪江美氏（パリ大学南校 線形加速器研究所CNRS主任研究員）の「B中間子崩壊過程の理論的研究および新物理探索への貢献」、第4回黒田賞は甲畑宏子氏（東京医科歯科大学総合研究機構研究基盤クラスター生命倫理研究センター助教）の「若年女性における遺伝学的リスクに関連する影響と社会的要因の探索及びリスクコミュニケーション手法の確立」及び松村実生氏（愛知学院大学薬学部薬化学講座講師）の「16族典型元素化合物の創成と反応開発に関する研究」に対してそれぞれ贈られました。また平成28年度より、本学卒業後アメリカに留学し『男女共学論』を著すなどの社会的活動を通じて女性の権利向上を広く訴えるとともに日中教育文化交流に尽力し戦後は桜美林学園の創設発展に貢献した小泉郁子氏、日本の生物科学の黎明期から革新的な研究を展開するとともに本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て日本初の女性理学博士となった保井コノ氏、本学卒業後数多くの女子学生を育て茶の成分について長年にわたって優れた研究を行い日本初の女性農学博士として活躍した辻村みちよ氏の功績を称えるため、それぞれ小泉郁子賞（以下小泉賞）、保井コノ賞（以下保井賞）、辻村み

ちよ賞（以下辻村賞）を創設し、この日に授与式を行いました。

第3回小泉賞は中西 祐子 氏（武蔵大学社会学部教授）の「ジェンダーと教育」に関する社会学的研究」に対して、第3回保井賞は沓掛 磨也子 氏（産業技術総合研究所主任研究員）の「アブラムシにおける社会性の分子基盤と進化に関する研究」及び南後 恵理子 氏（理化学研究所放射光科学研究センターXFEL研究開発部門研究員）の「X線自由電子レーザーによるタンパク質の動的構造と機能発現機構の解析」に対し、第3回辻村みちよ賞は牧野カツコ氏（本学名誉教授）の「子どもと家族生活に関する家庭科教育学および家族関係学の研究」に対し、それぞれ授与されました。

授与式では各賞のゆかりの方々列席のもと室伏学長から賞状と副賞のメダル・盾が授与され、お祝いの言葉がかけられました。本学は今後もこれまでに築かれた歴史と伝統を基盤として、広い視野と豊かな感性をもって未来を担う女性たちの育成に取り組んで参ります。



授与式の様子

に続き、桜蔭会の皆様よりご講評をいただきました。

発表者だけでなく、受賞者全員がこの2年間の成果を振り返り、今後の進路に向けて気持ちを新たにしました。



桜蔭会会長・副会長を囲んだ記念撮影

メディア報道記録

メディア報道記録 2018年度(抜粋) ※所属、職名は掲載

TV

- 2018年5月19日 NHK 食育が地域から広がる子供食生活の活動から〜赤松 理恵教授
2018年7月2日 フジテレビ トランスジェンダーの学生を受け入れ関連
2018年11月16日 NHK 国際放送 オンデマンド配信
2018年12月25日 NHK ひるまほっと「いまほん」
2019年2月21日 テレビ朝日 「東京都女性活躍推進大賞(受賞部門)」
2019年3月9日 NHK Eテレ すくすく子育て

新聞

- 2018年4月1日 朝日新聞 「教育者」道徳、どんな授業になる?
2018年4月2日 朝日新聞 はじめてのスマホ、安全に
2018年4月5日 朝日新聞 教育格差「音読」6割超 公立小中の親
2018年4月10日 読売新聞 幼稚園 明治初期に設置、普及は戦後
2018年4月16日 神奈川新聞 ザ・チャレンジ(小学校編)
2018年4月17日 熊本日日新聞 復興支援に感謝状
2018年4月18日 朝日新聞 制服の役割、世につれて
2018年4月21日 読売新聞 「乃木坂」スタリスター監修
2018年4月23日 朝日新聞 「職員」と市民に謝罪、辞職を
2018年4月26日 福井新聞 女性のリーダー後押し
2018年4月26日 読売新聞 国立大交付金 増減顕著に
2018年5月6日 日本経済新聞 NIKKEI THE STYLE—絵巻に包まれる
2018年5月10日 朝日新聞 健康メニュー、店や社食を認証
2018年5月17日 毎日新聞 三二論点 官民挙げて訓練の場
2018年5月18日 日本経済新聞 簡単な数式で迫る現象の本質
2018年5月20日 福井新聞 ひと声ふくい、お茶の水女子大
2018年5月24日 毎日新聞 狹山市長選に賛意
2018年5月30日 日本経済新聞 電子新聞閲覧ランキンガー

- お茶の水女子大学
2018年6月1日 毎日新聞 縮む日本の先に 最期の選択の 国際まで
2018年6月8日 毎日新聞 くらしナビ ライフスタイル「ママがいい」
2018年6月28日 朝日新聞 成績・進学期待、収入に比例
2018年6月28日 日本経済新聞 生活習慣、学力に影響、文科省が学テ分析
2018年7月2日 朝日新聞 お茶の水女子大「心は女性」の学生
2018年7月2日 朝日新聞 「心は女性」の学生
2018年7月3日 読売新聞 「心は女性」の男性
2018年7月3日 朝日新聞 トランスジェンダーの学生
2018年7月3日 読売新聞 「心は女性」の学生
2018年7月4日 日本経済新聞 「女性自認」の学生
2018年7月10日 朝日新聞 「心は女性」を受け入れ進む女子大
2018年7月11日 朝日新聞 東大「公平性に疑問」
2018年7月11日 読売新聞 「心は女性」を受け入れ
2018年7月12日 朝日新聞 「心は女性」を受け入れ
2018年7月13日 読売新聞 トランスジェンダー
2018年7月16日 日本経済新聞 デンソー、声で操作する車
2018年7月17日 朝日新聞 「あそび」劇刊70周年
2018年7月18日 日本経済新聞 食品ニューテクノロジー研究会
2018年7月18日 高崎日日新聞 多様な性
2018年7月19日 朝日新聞 性別の垣根、越える服
2018年7月19日 読売新聞 大学の美力
2018年7月23日 産経新聞 「心は女性」の学生受け入れ

- お茶の水女子大学
2018年7月23日 日本経済新聞 復興に取り組み
2018年7月26日 西日本新聞 「性」どう向き合う女子大に戸惑い
2018年7月27日 毎日新聞 次世代リーダー養成塾
2018年7月29日 日本経済新聞 日本でセミナー、男女参画推進法
2018年7月30日 朝日新聞 「逃げ道」を学問分
2018年7月30日 読売新聞 食べの幸せ、届けたい
2018年8月2日 読売新聞 美術館とスマホ
2018年8月4日 朝日新聞 大阪府方針に学校は反応
2018年8月4日 読売新聞 叙位叙職=東京
2018年8月5日 しんぶん赤旗
2018年8月6日 日本経済新聞 多様な性
2018年8月7日 朝日新聞 (社説) 全国学力調査
2018年8月9日 毎日新聞 沖縄に国立自然博物館
2018年8月11日 朝日新聞 都吹奏楽コンクール
2018年8月14日 朝日新聞 変わる2020大学入試
2018年8月28日 大塚新聞 「お茶大サークルOchas」
2018年8月30日 日経XTECH
2018年8月31日 読売新聞 「聞いてみました」
2018年9月1日 日本経済新聞 「心は別の姓」
2018年9月3日 毎日新聞 その「聞きたい」
2018年9月6日 毎日新聞 人柄と才能
2018年9月9日 朝日新聞 ジェンダーの平等
2018年9月14日 日本経済新聞 とびきりの祝辞
2018年9月17日 日本経済新聞 最先端の治療
2018年9月18日 教育新聞 「英語教育より国語教育の強化
2018年9月18日 読売新聞 「心は女性」の学生受け入れ
2018年9月18日 読売新聞 大学の美力
2018年9月28日 読売新聞 「心は女性」の学生受け入れ

- 株式会社IHI 取締役常務執行役員
2018年9月18日 日本経済新聞 国立大、サイバー対策
2018年9月19日 日本経済新聞 静岡県内で留学生に就業体験
2018年9月20日 茨城新聞 時の人トランスジェンダー
2018年9月20日 毎日新聞 研究深化へ女性連携
2018年9月20日 読売新聞 JST、今年度OPERA
2018年9月21日 東京新聞 この人 女性自認の学生
2018年9月21日 朝日新聞 時のひと トランスジェンダー
2018年9月21日 神戶新聞 大学の女性自認の学生
2018年9月22日 読売新聞 論点スペシャル
2018年9月24日 徳島新聞 人間がお互いを差別
2018年9月25日 北日本新聞 けさの人
2018年9月25日 高崎日日新聞 ひと トランスジェンダー
2018年9月27日 毎日新聞 大学受験NOW
2018年9月27日 日本経済新聞 米大学とオンライン教育
2018年9月28日 北國新聞 きょうの人
2018年10月2日 日本経済新聞 ネット電話友達
2018年10月4日 朝日新聞 共通テストつきめ懸念
2018年10月4日 朝日新聞 53%弱 公平性に疑問
2018年10月4日 朝日新聞 (ひらく 日本の大学)
2018年10月5日 東京新聞 教育動向
2018年10月12日 科学新聞 本底佑氏
2018年10月12日 毎日新聞 責任あいまい反省
2018年10月12日 読売新聞 「学ぶ育む」
2018年10月13日 朝日新聞 通報しやすく工夫
2018年10月28日 東京新聞

- 政府 介護の負担
2018年11月3日 新聞各紙 秋の叙勲受章
2018年11月3日 新聞各紙 秋の叙勲受章
2018年11月3日 新聞各紙 秋の叙勲受章
2018年11月10日 東京新聞 私の「ちびまる子ちゃん」
2018年11月19日 日本経済新聞 70歳現役女性
2018年11月19日 毎日新聞 教育の窓
2018年11月29日 日本経済新聞 大学ブランド力調査
2018年12月1日 日本経済新聞 リーダーの本棚
2018年12月2日 産経新聞 ポスト2020日本の未来
2018年12月4日 東京新聞 文京区、不登校支援強化
2018年12月5日 日本経済新聞 大学再編
2018年12月11日 毎日新聞 希望新聞
2018年12月12日 朝日新聞 オピニオン&フォーラム
2018年12月15日 東京新聞 Campusインフォーメーション
2018年12月19日 富士新聞 幼児教育の充実
2018年12月19日 日本経済新聞 サイバー攻撃前哨に構築
2018年12月21日 毎日新聞 コソフスーツ
2018年12月21日 読売新聞 学ぶ育む
2018年12月28日 朝日新聞 大正の「第九」、10分の音色
2019年1月17日 産経新聞 都女性活躍推進大賞
2019年1月17日 読売新聞 「都女性活躍推進大賞」
2019年1月20日 毎日新聞 仕事の現場
2019年1月23日 日本経済新聞 私たちの年金
2019年1月25日 科学新聞 永瀬 伸子教授



お茶の水女子大学学报 第260号
▽発行日：2019年4月4日
▽発行：国立大学法人お茶の水女子大学
東京都文京区大塚 2-1-1 (〒112-8610)

ご意見・ご感想はこちらまで
企画戦略課広報企画担当

電話：03-5978-5105
FAX：03-5978-5545
E-mail：info@cc.ocha.ac.jp
URL：http://www.ocha.ac.jp/

本誌、お茶の水女子大学学报「GAZETTE」は、
本学ホームページにも掲載していますので、どうぞご覧ください。